

地球社会基盤学専攻	研究分野	居住環境	Lab. ID
研究室Webサイト	未作成		
研究課題の概要			
<p>本研究室では、SDGs(持続可能な開発目標)と建築・都市分野の密接な関連性を踏まえ、地球環境を保護しつつ、人々の暮らしや地域社会、経済にどのように貢献できるかを探求しています。特に、障害、病気、被災、独居など、多様な課題を抱える方々が直面する住まいや地域の問題に焦点を当てています。これらの方々が、どんな背景を持っていても、その人に適した住環境や地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を目指しています。具体的には、人々の意識や行動、社会制度、ルールに注目し、実生活に根ざした研究を行っています。これにより、より良い住環境と持続可能な社会の実現に向けた具体的な対策を追求しています。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>【方針】学生一人ひとりが主体的に研究に取り組める環境を整えています。定期的な研究ミーティングを通じて、進捗の共有や問題点の解決を図り、研究の相談がしやすい環境を作り出します。</p> <p>【研究】研究テーマは、教員からの提案に基づく場合もあれば、学生自身の興味を反映させたテーマが生まれることもあります。テーマが決まった後は、教員と密に相談し、研究を進めていきます。特に大学院生には、国際会議での発表や国際ジャーナルへの投稿を目指し、チャレンジングな研究に取り組んでもらいます。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>【ゼミ】毎週の全体ゼミでは、各自が研究の進捗を発表し、意見交換を行うことで、研究の幅を広げ、視野を深めます。また、研究グループごとのゼミでは、関連論文の紹介やディスカッションを通じて、自分の研究の位置づけをさらに明確にしていきます。</p> <p>【研究環境】各学生には専用のデスクが提供され、集中して研究できる環境が整っています。静かな空間で自分の研究に没頭することも、仲間と近くで議論を交わしながら研究を深めることもできます。</p> <p>【コアタイム】週に3回程度、学生同士で積極的に交流し、意見を交わす時間を設けています。コアタイムは研究活動を進めるだけでなく、学外活動や人脈作りの場としても活用され、充実した大学院生活を支えます。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>私たちの研究室は、社会貢献と環境保護を両立させるような革新的なアイデアを追求しています。実際の課題を解決するための学際的なアプローチを学べる環境が整っており、学生一人ひとりの意見や考えを大切にしながら進めています。興味を持ち、共に学び、社会に貢献するプロジェクトに参加したい方をお待ちしています。</p>			
研究室連絡先メールアドレス	<a href="mailto:fujii@se.kanazawa-u.ac.jp">fujii@se.kanazawa-u.ac.jp</a>		